^{令和6年度} 管内学校支援アクションプラ<mark>ン</mark>

○県教育庁宮古教育事務所

令和6年度「重点目標」

- ○指導と評価の一体化を基軸とし資質・能力の育成を目指した授業改善・学習改善の推進を図る
- **○機能的な学校組織と意図的・計画的なカリキュラム・マネジメントの推進を図る**

	重点事項		重点事項の具体		検証用材料	
P·PII	の視点	重点事項	(学校支援の具体・各学校の取組)	県児童生徒質問	県版学校質問	研修関連資料
【方策1】 日常化する 質的授業改善	授業改善の推進	○主体的に学ぶ自立した 学習者の育成	意図的・継続的な資質・能力の育成のための 「単元デザインシート」等の活用	- 設問9・10・14	設問2・4	○合同学年会・エリ ア型研究会等で把握
			主体的に「問い」をもち「見方・考え方」を発揮させる授業改善の推進			
			自分の学びの振り返りを通して、自分で考え・ 調整しながら学びに向かう指導の工夫			
			生徒指導の4つのポイントの視点を生かした授業改善の推進			
		○資質・能力の着実な育 成に向けた単元づくりに よる指導と評価の一体化	評価規準等(見取る視点)の設定と一人一人の 学習状況を見取る「指導に生かす評価」の実践	設問12	設問3・5・20	
			日常の教育活動における「個人内評価(個人の 良さや可能性・進歩の状況)」の実践			
			資質・能力を見取ることのできる「テスト」等 の評価方法・材料の充実と指導改善・学習改善			
【方策2】 そろえる 組織的 共通実践	+	○組織的共通実践の効果 的な推進(組織・個人)	学年会や教科会等の定期的な開催と授業改善 〔1-(2)(3)(5)(6)) に向けた研究と実践		設問6・7 11・15・17 18・19	
			学習の基盤となる資質・能力の育成を図る教育 課程全体での体系的・継続的な取組の推進			
			学習 (生活) 規律・ルールの定着についての児 童生徒の理解と学校 (学年) 全体での実践			
			個別の補充的・発展的な学びや協働的な学びと ICTの効果的な活用			○各教育委員会によ る取組状況調査
【方策 3 】 支える	ヤリア形成の促進	○児童生徒の社会的資 質・能力の発達を支える 取組	確かな児童生徒理解に基づく発達支持的生徒指 導の充実	設問2·3·4·5 8·13·14	設問10·11 14·15	
			自己の成長が実感できるキャリアパスポートの 効果的活用			
発達の支援			自己有用感や自己肯定感を育む出番(役割)づくりと承認の手立ての工夫			
131			児童会・生徒会活動と学級活動を連動させる 等、学びに向かう集団づくりの推進			
【方策 4 】 見通す 学校組織 マネジメント	学校改善	○校内研究体制の整備と カリキュラム・マネジメ ントの推進	「目指す子供像」や「資質・能力」の育成と教職員が主体となったカリキュラム・マネジメントの推進		設問7·8·12·1 3·19·20	
			本県の目指す授業像や自校の研究課題を踏まえ た組織的授業改善に向けた研究の推進			
			学校評価等の活用と計画的 (RPDCA) なカリキュラム・マネジメントの推進			
			本県の目指す授業像や自校の研究課題等を踏ま えた管理職の授業観察の実施			
【方策 5 】 つなぐ 学校連携 地域連携	推進	○校種間連携の推進と管 内組織体制の充実	接続カリキュラムと「幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫		設問9 設問14	
			中学校区の「目指す子ども像」に向けた支持的 風土づくりの協働実践と学習の基盤となる資 質・の育成			○小中連携・主事要 請等で把握
			児童生徒のキャリア形成に向けたキャリアバス ポートの共有と校種間連携の推進			
		○地域等との互恵的関係と社会に開かれた教育課程の推進	学校の教育目標(資質・能力)等の地域との共 有と連携・協働した学校運営の推進		設問16	
		○若手教員育成等系統的な	*指定研修の推進			
教職員の資質		○授業改善に向けた教科研究会の推進		事後アンケート (各種研修会終了後)		
		/ ○教職員の使命と責務を高める取組の推進		(口任则形本於丁及/		